



よむぞう通信

No. 100

100号記念
特別企画!!

“よむぞう” 突撃インタビュー!

おかげさまで、今号で「よむぞう通信」は100号を迎えました。そこで、今回は特別企画として、図書館のキャラクター“よむぞう”による館長インタビューを行います!



よむぞう (以下、よ): こんにちは! きょうは
よろしくおねがいします



館長 (以下、館): よろしくおねがいします

よ: さっそくですが、100号を迎えての感想をおしえて
ください

館: ただただ感無量です。図書館からの情報発信資料と
して8年と少々。市民の皆様に少しでも役立つ情報
を提供してきました。これからも応援してください。

よ: どうして「よむぞう通信」を作るようになったん
ですか?

館: 図書館に来ていただいたお客様に何かしらのお土産
を持って行ってもらいたい、との考えから発行する
ことになりました。

よ: 館長はいつもどんな仕事をされているんですか?

館: 図書館が向かうべき方向に進むように、皆の仕事
を見ている。他の図書館からの情報を収集し、アイ
デアを出し向かうべき方向を決める、船でいうとこ
ろの船頭の役目と思っています。

よ: 昔の図書館は、中央も新居も今とは別の場所にあっ
たそうですが、どんな図書館だったんですか?

館: 昔の湖西図書館(現中央図書館)は元銀行の2階を改装
して図書館として運営していましたので、そりゃあ
小さな図書館でした。新居図書館も昔は新居町民セ

ンターの一階を図書館としていましたので小さかつ
たですね。ただ、どちらの館も小さいなりに様々な
サービスを展開していましたので、面白かったとい
う記憶はあります。

よ: 今までで印象に残っている出来事やイベントはあり
ますか?

館: イベントを行った際にお客様から「ありがとうござ
いました♡」と温かいお言葉を頂いた時はうれしい
ですね。あと昔の「よみん祭」で綿菓子を作った時
には、体中砂糖だらけになってしまい、服が甘くな
るという体験をしました。

よ: あまい服なんてうらやましいです! ところで、館長
はいつもどんな本を読んでいますか? ぼくは『ぐる
んぱのようちえん』が大好きで、よく読んでいます。

館: 文学書から経済書などを読破しています…と答え
たいのですが、残念ながら「老眼」が酷く自動車雑誌
を読む位です。希望としてはハンモックで文学書な
ど、ゆったりと読めれば良いなと思っているので
すが…。(場所がない!)

よ: もっとたくさん聞きたいことがありましたが、そろ
そろ時間がきてしまいました。これからも、館長と
一緒に図書館を盛り上げていけたらいいなと思っ
ています。きょうはありがとうございました!

館: ありがとうございました。

第13回 原爆と人間展

期間: 令和元年8月19日(月)午前10時より
8月30日(金)午後4時まで

会場: 新居図書館 玄関ロビー

お知らせ



9月9日(月)~14日(土)は
蔵書点検のため、**全館休館**となります
(西部・北部は ~16日(月)まで休館)

中央図書館 今の特集

夏を楽しもう

- ・『楽しい自然ウォッチング』
- ・『すぐにできるおいしい野外料理』
- ・『いま行きたい! スゴいホテル』
- ・『甘ゼリー・塩ゼリー』ほか



新居図書館 今の特集

平成を振り返る

- ・『「NO」と言える日本』
- ・『チーズはどこへ消えた』
- ・『病気になるらない生き方』
- ・『舟を編む』ほか

平成

「100」のつく本あつめました

- 歴史を変えた 100 冊の本
- 100%夢をかなえる人の習慣
- 人生 100 年時!しあわせ老後計画
- 百年の女
- ばあばの 100 年レシピ
- ほぼ 100 円飯
- 世界をつなぐ 100 の技術
- 100 円のコーラを 1000 円で売る方法
- 高校サッカー100 年
- 百の夜は跳ねて
- 百年泥
- 百年法
- 鬼談百景
- 窓から逃げた 100 歳老人
- 100 歳の 100 の知恵
- 平成仮面ライダー完全超百科
- るるぶ地図でよくわかる都道府県大百科
- 100 年の木の下で
- いつも 100 てん!?おばけえんぴつ
- 100 年だったら
- おうさまがかえってくる 100 びょうまえ!
- 100 えんのにじ
- 100 円たんけん
- のせてのせて 100 かいだてのバス
- エルマーと 100 さいのたんじょうび
- 100 万回生きたねこ
- 100 まんびきのねこ
- 1 から 100 までのえほん
- ぶたくんと 100 ぴきのおおかみ
- のえんどうと 100 にんのこどもたち



朗読グループ「はなしずく」による

＝ 大人のための朗読会 ＝



夏にこそ、「あま酒」!

あま酒というと冬のイメージが強いですが、江戸時代には夏バテ疲労回復のスタミナ飲料として流行しました。あま酒には 2 種類あり、酒粕と麴のタイプがあります。麴のあま酒はアルコールが全く含まれず、お子さんや妊婦さんでも飲めるため、最近人気があります。

疲労回復だけでなく、ダイエットや美容、免疫力のアップなどいろいろな効果がありますので、飲むだけでなく料理などにも取り入れて、この夏を元気にのり切りしましょう!

おすすめ本

『知識ゼロからの甘酒入門』

『おうちで簡単、体に効く!麴甘酒パワーレシピ』

『料理用あま酒、はじめました。』 ほか



- ◆日時 8月23日(金) 14:00~15:00
- ◆場所 中央図書館2階 お話し室
- ◆内容

- ・「**笛**」 菊池 寛/著
- ・「**蛭起食桑**」 かいこおきてくわをはむ 高樹のぶ子/著
- ・「**猫怪談**」 古典落語より

※事前申し込みは不要です。当日会場へお越しください

8月のカレンダー

■ = 休館日

中央図書館						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

新居図書館						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

西部図書室・北部図書コーナー						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

☎ 053-576-4351

開館時間 9:30~18:30

☎ 053-594-3155

開館時間 9:30~18:30

西部地域センター : ☎ 053-577-2867

北部多目的センター : ☎ 053-578-0760

開館時間 9:00~17:00